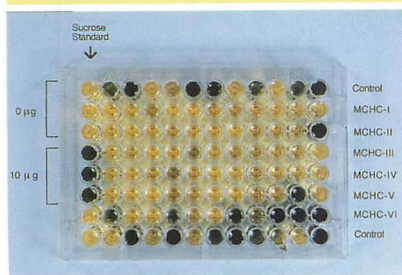


ワタアブラムシの寄主選択阻害因子

篠田徹郎氏原図（本文5ページ参照）



▲マイクロタイタープレート法によるワタアブラムシ摂食阻害活性の測定例、MCHC-I～VIは人工飼料にニガウリ画分を添加したもの。



▲ワタアブラムシの吸汁を受けた抵抗性メロン葉切片

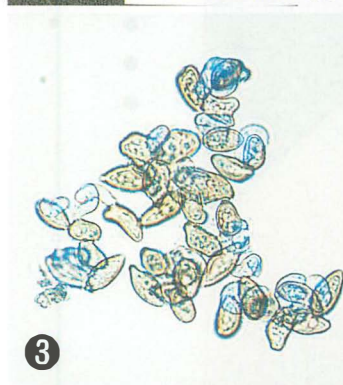
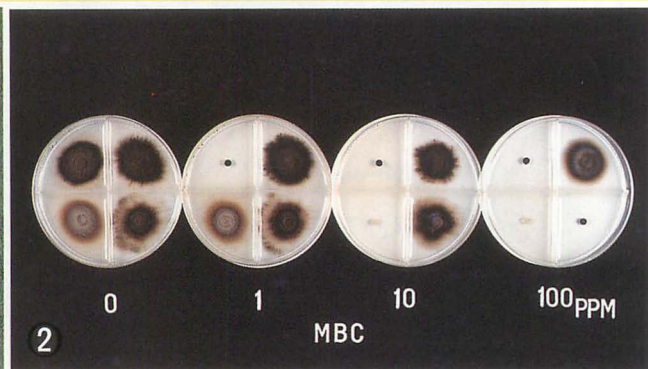
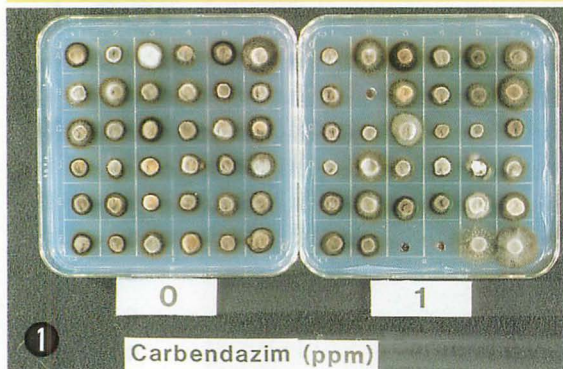
右：エリスロシン及び塩基性アニリンブルーで二重染色し、ハロゲンで観察。

左：同じ試料を蛍光観察したもの、口針鞘周辺の細胞にカロースの蛍光（2か所）がみられる。

植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル（14）

——ナシ黒星病——

石井英夫氏原図（本文38ページ参照）



- ① ナシ黒星病菌のカルベンダジム耐性の検定
- ② ナシ黒星病菌のカルベンダジム耐性程度の違い
（右上から時計方向に順に強耐性菌、中等度耐性菌、弱耐性菌、感受性菌）
- ③ ナシ黒星病菌分生胞子の発芽（ベンゾイミダゾール感受性菌：カルベンダジム1 ppmで発芽管伸長が抑えられ、隔膜形成が妨げられている）
- ④ ナシ黒星病菌分生胞子の発芽（ベンゾイミダゾール耐性菌：カルベンダジム1 ppm区でも発芽管が旺盛に伸長し、隔膜形成も認められる）
- ⑤ ナシ黒星病菌分生胞子の発芽（薬剤無添加区：発芽管が旺盛に伸長している）
- ⑥ ナシ黒星病菌分生胞子の発芽（フェナリモル0.5 ppm区では発芽管の膨潤、肥厚化がみられる）



①

▶ウイルス様症状



②

◀キンギョソウ：栽培圃場の様子



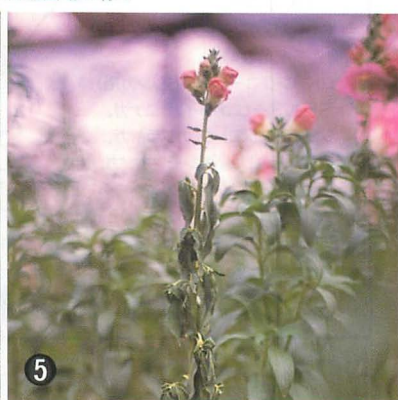
③

▲葉に発生した疫病



④

▲葉枯病



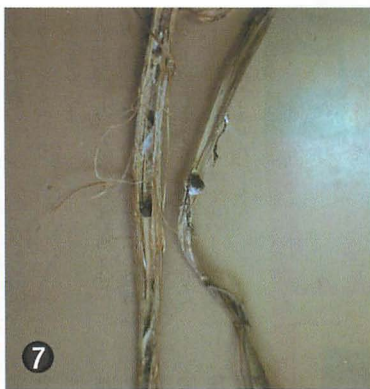
⑤

▲菌核病：株枯れ症状



⑥

▲菌核病：地際部に生じた菌糸



⑦

▲菌核病：茎内に生じた菌核



⑧

▲菌核病：菌核から生じた子のう盤



⑨

◀アブラムシ

ハモグリバエ
被害葉▶



⑩